

第7期

# 事業報告書

自 2025年 1月 1日

至 2025年 12月 31日

公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・福岡

## 基本方針総括

2025年度の主たる事業として「九州・沖縄ブロック大会」を開催した。地区としてはコロナ以降、久々の大規模事業となった。競技会運営の基本に立ち返る機会となった。

### [事業]

#### ●公益目的事業

- ・知的障がい者のスポーツ活動の充実

2025年度は「九州・沖縄ブロック大会」という大規模大会の主催地区として、最大限の努力をもって取り組んだ。スポーツ競技団体に公式審判派遣を依頼し、アスリートにとって可能な限りの競技環境を整えることを目標とした競技会のあり方を改めて確認、実務に落とし込む過程で様々な課題が浮き彫りになったが、その都度原点に戻り検討を重ね共有できた。

アスリートにとっては日頃の練習の成果を整った環境の元、発表する機会であり、日ごろ一緒にトレーニングをしていないアスリートと競技する機会でもある。更に、生活面での自立度を客観視し、それぞれの家庭で今後の競技だけではない取組に生かす機会でもあった。

更に日頃の練習に目的意識を持って取り組む好循環が生まれた。競技レベルの向上だけでなく、参加するために必要な日ごろの準備まで含めた自立を考える契機となった。

数年来のトレンドであるユニファイド活動を推進する動きに取り組む方針は今後もレクリエーションイベントとして継続しつつ、プログラムでは中長期を見据えその醸成を進め競技会への参加機会を増やしたい。

- ・知的障がい者スポーツ振興のための人材育成

2025年度は新コーチ研修制度への移行期間であった。SOI (SO インターナショナル) が世界共通のシステムとして、コーチングの一貫性をはかり、制度の目標はそのまま、多様なアスリートに対応するためコーチの拡充は必須である。

一方で、現在ボランティアで今後も継続して関わりたいと思ったださる方、新しくボランティアとして参加したいと思われる方にとって、ネットに不慣れな方、環境の差により苦手意識を持つ方へのサポートの必要性には地区として引き続き十分な配慮が必要であると考えます。

- ・知的障がい者への理解を深めるための広報啓発事業

例年通り、「博多どんたく港まつり」、「EKS デー」には支援企業の関係者に参加いただきアスリートを中心に交流の機会を持った。2025年度は「九州・沖縄ブロック大会」開催により、企業ボランティアの拡充並びに競技連盟・協会との連携があ

り、アスリートについて、SOの活動及び競技会のあり方について説明をする機会を得た。

#### ●収益事業

##### ・物品販売

2025年度の事業計画に沿い、目的を持った活動資金調達のために北九州及び福岡でファミリー委員会が中心となり取り組んでいる。取扱商品の検討、継続した支援につながる販路拡大など毎年見直しながら行っている。活動資金調達の手段として大きな成果を上げている。

### [組織]

#### ●専門委員会活動

・事業計画に基づき、各専門委員会が活動した。2025年のメイン事業「九州・沖縄ブロック大会」は実行委員会体制で、各委員会を中心に役割分担で取り組んだ。

#### ●財務基盤強化

・公益法人のメリットを最大限に生かすことを基本に、支援企業・団体の拡大を行った。謝意を兼ねて事業計画及び活動報告を折に触れ伝え共有を図ることで継続した支援へと繋げてゆく。競技会を始め、様々な機会を提供しアスリートの社会性、自立性をサポートすることの意義、成果を発信した。

### [経営]

#### ●機構整備

##### ・多方面からの協力者の確保

2026年にはスペシャルオリンピックス日本・福岡が地区組織「設立30周年」を迎えるにあたり、それを記念する事業を予定している。2025年はその節目を前に原点回帰し長きに亘り関わってきた人の高齢化が進むという現状を認識しつつ結果的に規模の大きい大会を盛会裏に実施できた。これまでの経験値に加え、新しいマンパワー、意識を取り込み、コミュニケーションを図り、非営利活動団体として目的のために協力して活動した。30年にわたる活動の意義は大きいといえよう。

##### ・他団体との協働

2024年より「九州・沖縄ブロック大会」の主催を念頭に進めてきた企業、団体との連携は準備不足の面もありながら一定の成果はあったと考える。この関係性を今後も維持発展できるよう様々な事業に巻き込んでいきたい。

# 2025（令和7年度）事業報告書

2025年1月1日から2025年12月31日まで

公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・福岡

事業区分	事業の内容	実施日時	実施場所	備考
公益目的事業	<b>スポーツプログラム事業</b> ・知的障がい者のスポーツ振興事業ならびに担当地域全体への事業拡大 ・その他知的障がい者の自立と社会参加の促進事業			
	スポーツトレーニングプログラム：13競技実施 ボウリング、卓球、バスケットボール、テニス、競泳、ゴルフ、陸上、馬術 スノーボード、アルペンスキー、スノーシューイング、フロアボール、ショートトラックスピードスケート ヤングアスリート その他：絵画	1月～12月	福岡県内	アスリート151人 コーチ・ボランティア153人
	<b>大会派遣・開催事業</b> ・SO国際本部及びSO日本、ブロック、他地区等が開催する大会、競技会への派遣・参加 ・地区大会、競技会の開催			
	近畿ブロック卓球競技会（卓球）	6/21	枚方市	選手団 10名
	九州・沖縄ブロック大会・福岡（競泳、陸上、バスケットボール、ボウリング、馬術、ゴルフ、卓球、テニス）	11/1～2、11/9	宗像市ほか	福岡選手団 126名 （選手団全体 389名）
	フロアボール交流会	12/21	下関市	選手団 11名
	<b>研修プログラム事業</b> ・SO日本が開催するトレーニングプログラム、研修会、その他の会合への参加 ・ボランティアへの各種の研修プログラムの提供			
	SO日本地区連絡協議会/SO日本全国事務局長会議 スポーツプログラム委員会全国会議・ブロック別会議	4/19	オンライン	
	下半期ブロック会議（幹事地区：長崎）	12/7	オンライン	3人
	各委員会	定例会等	オンライン他	50人
	コーチクリニック	1月～12月	オンライン	（新規/更新）
	<b>広報・啓発事業</b> ・知的障がい者に関する一般社会の理解を深めるための広報・啓発事業			
	広報誌発行編集会議	2025年発行	事務局	6人
	ホームページ、フェイスブックでの広報	通年	全国	50,000人
	トヨタ自動車九州企業祭/サンクスフェスタ	4/13	宮若市	10人
	博多どんたく港まつりパレード	5/3	福岡市	169人
	EKSデー	7/6	福岡市	150人
	ライオンズフェスタ	10/12～13	北九州市	20人
	収益事業	<b>販売事業</b>		
物品販売 日本茶、辛子明太子、菓子、調味料、麺類等		7月・11月	福岡県他	支援者及び関係者

理事会

	会議名	議 題	日時	場所	参加者
1	第1回理事会	1. 2024年度新規正会員承認の件 2. 2024年度（令和5年度）事業報告及び決算・監査報告の件 3. 理事選任の件 4. 2025年定時社員総会付議の件	2/22 10：30	事務局	理事 7人 監事 2人
2	第2回理事会	1. 理事長・副理事長選任の件	3/15 11：40	事務局	理事 8人 監事 2人
3	第3回理事会	1. 2025年度上半期活動報告並びに決算承認の件	8/2 10：30	事務局	理事 10人 監事 2人
4	第4回理事会	1. 2026年度事業計画案および予算案の件	12/13 10：30	事務局	理事 8人 監事 2人

総会

	会議名	議 題	日時	場所	参加者
1	総 会	第1号議案 2024（令和6）年度事業報告及び決算・監査報告の件	3/15 10：00	ふくふく プラザ 並びに 書面表決	146人